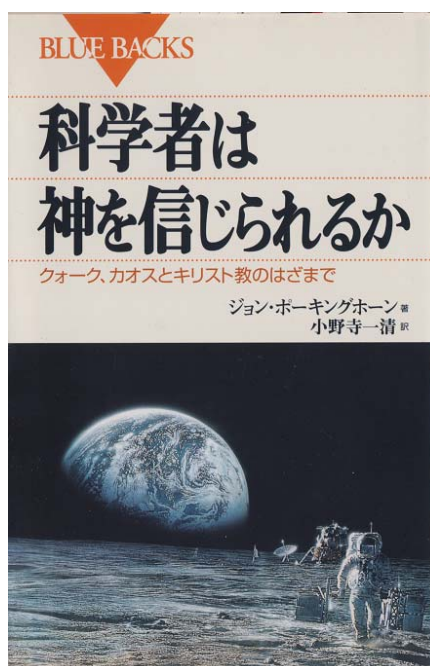
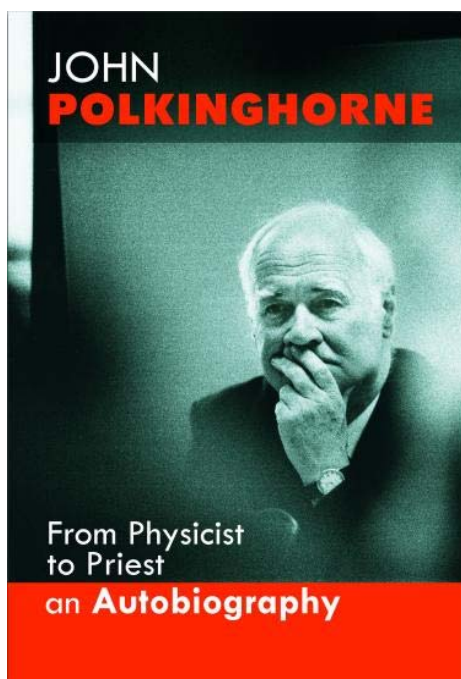


ところで、ジョン・ポーキンホーンさんは(私と同じ年頃ですが)英国ケンブリジ大学クイーンズカレッジの総長だった方です。1979年まで数理物理学の教授(Ph.D.,ScD)でしたが、その後、神学校に入学して聖職を志し、英国國教会の司祭となった人です。
科学が始まった國ですからこのようなことが起こるのでしょう。



「科学者は神を信じられるか」—クォーク、カオス、とキリスト教のはざままで—
ジョン・ポーキングホーン:小野寺一清(訳)ブルーバックス B1318(2001)講談社

“Science”という英語は12世紀頃に“Science and Belief”という使い方で始まっています。英語系の Knowledge ではなくて、フランス語です。単に知識という意味の外來語に少し別の意味を含ませたのです。つまり、Scienceには“神様について知っていること”という意識が含ませられていたのです。科学の先導的の課題の多くのものがイギリスの科学者から出てくることが多かったのです。(すくなくとも私の科学研究の経験では・・・)

近頃、「靖国神社」が朝鮮。支那からクレームを付けられることがあります。その尻馬にのってか、日本の仏教徒からもクレームを付けられているとも言われます。

日本の神様には偶像はないのです。鏡を通じて無限にひろがる世界です。本来、仏さまのような偶像も持っていないのですから、多神教なのに一神教の神様と似たような世界を持っているのです。何も拒否しないのです。昔の或る一時期には神様と仏さまは混交されていました。(日本の神様もキリスト教の神様と同じく進化を続けているのでしょう。)

それでも、日本では宗教と科学とは相容れないものと考えられてきました。(日本でも宗教的な例えばキリスト教信者の学者はかなり居るのですが・・・)

下図の書籍には神様の片鱗もありません

科学の研究が神様のためでなければ何のために研究をするのかという、問題が残るのです。

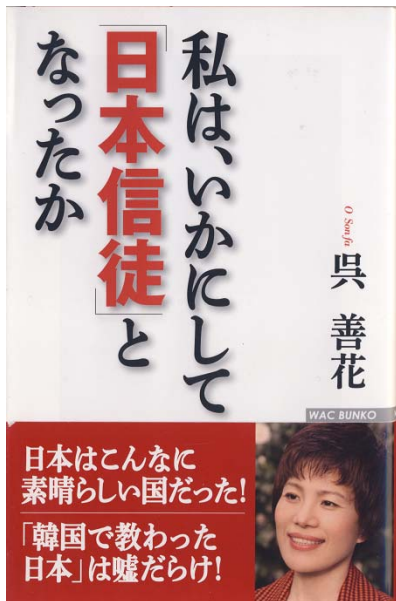
この本では「好奇心のため」(すなはち、知的欲望)となっています。

これはちょっと格好よすぎます。実際の多くは、物的欲望(私利私欲)のためです。捏造が出てくるの当然の成り行きです。



1-2 吳善花 さんの世界

1983年に韓国から来日し、いろいろの誤解、矛盾に見えることなどとの苦闘を経て日本国籍を取得しました。そのような経験と、そのような自分に対する考察を含めた書籍が下図のものです。その他、すでに40冊近い著書があります。現在、拓殖大学国際学部の教授です。最近、韓国の故郷へ帰るためのVISAが取れず、**韓国の入国拒否**などで問題になりました。



そのなかの一説に日本の神社についての話があります。

***靖国神社はお化け屋敷？

日本にいる韓国系のキリスト教会では「日本には八百万の邪鬼が居る。これを追い出さないと日本の未来はない。それが日本に居る私達の使命です」と教えるそうです。この話は、戦国時代末期の日本のやってきたキリスト教の伝道師達の雰囲気を出させます。

現在の韓国のキリスト教はその頃の腐敗したキリスト教と邪教化したプロテスタントからなっているような気がします。新興宗教並みの魑魅魍魎のキリスト教が現出されています。(もちろん一部には正統的なキリスト教があっても良いのですが・・・) 儒教の精神にははじめから神は居ませんし、共産党にも神は居ません。どんな邪悪な精神、考え、が出来あがっても不思議ではないのです。

***ローマ法王「韓国民、倫理的に生まれ変わることを望む」

2014年04月26日12時11分 [© 中央日報/中央日報日本語版]



韓国ユ・フンシク主教とフランシスコ法王（右（写真＝韓国天主教大田教区）

ローマ法王庁で天主教大田教区長のユ・フンシク主教がフランシスコ法王に会いました。ユ主教は、旅客船「セウォル号」の犠牲者を哀悼した法王の祈祷に感謝の意を伝えました。

法王は「韓国民すべてに深い哀悼を表す。若者に会いに行く訪韓を控え、多くの若い生命の犠牲を非常に残念に思う」と述べた。

同時にまた「韓国民がこの事件をきっかけに倫理的・靈的に生まれ変わることを望む」と強調した。

1-3 ヨーロッパ以外の科学

私は常々宗教的背景の異なる所ではどのような科学が発展するのかに興味を持って來ました。勿論、科学の定義は國によっても異なっているのです。また専門分野によっても異なっています。アジアでは(私が日本人であるので)ある程度の想像が出来るのかと思っていました。

むかしは、「日本の科学は趣味的で、あまりにも、銜学的すぎる」と良く批判を浴びていました。その科学で日本が最近ノーベル賞をいただけるようになったのです。科学の領域が変わりつつある様です。

日本では、工学部の領域の人々には無神論の人々が多いのです。私はよく神様の話をするのですが、すぐに横を向いてしまう人々がほとんどです。(私自身は無神論の人なのですが、積極的に神様の存在を拒否しないレベルの無神論です。つまり、祖先のお墓もありますし、神社の前では会釈ぐらいはするのです)

上述の工学畑の人々では、「教育はあっても教養のないひとびと」が日本にも沢山居るので

*菅直人（東京工業大学理学部応用物理学科 1970）

*鳩山由紀夫（東京大学工学部計測工学科 1969、スタンフォード大学 Ph.D

日本には神様が居るのにこのような状態です。ここでは、とくにコメントはしません。

Margaret Thatcher (Oxford 大学、Somerville College, 化学(1943)) さんと比較しながら見てください)

神様が居ない中国と韓国とではもっと酷いことになっています。

*習近平 (精華大学化学工部(1979))

わたくしの研究室で Ph. D をとった精華大学の先生が二人居ましたし、わたくし自身も精華大学で集中講義をしたことがあります。習近平さんの学生だった時代よりも数年後だったと思いますが、夜遅くまで校庭で討論したことを思い出します。意欲的で優秀な学生が多かったと思いますが、科学的な考えには問題もあったと思います。 そのときのテーマの一つ*「北京で手をかざして、気をやれば上海では核反応が進むかも・・・」

此は別の話題ですが、漢方医学 (いまは中国伝統医学というようですが) の国際標準化を (アフリカの国々を動員して) 進めているようです。

*朴槿恵 (西江大学校電子工学科)

わたくしの研究室にも何人かの北朝鮮系の学生が居ました。
又アメリカの学会では何人かの韓国系の人とも話をしたことがありました。
上記の呉善花さんの本を読んでいると色々と思いがたることがあります。
朴さん自身はプロテスタントの信者だそうですが、フランスで考え方を補正できたかどうか分かりませんが、日本に来てもっと文献を読めば、話が変わったかもしれません。竹島に上陸したりする人ですから、理由無く人を謗るという性格を持っている人でしょう。上記の教皇様にも日本の悪口を言ったとか、言わなかったとか・・・。

* * * * *

2) 第 57 回定例会(2014/07/23)の報告

2-1 出席 9名 メール送付数 約 800

2-2 次の資料を配布しました。

「生物災害の悪夢」—別冊生物兵器テロの正体—宝島社 (2000)

* * * * *

中畑さんからのお知らせ。

服部さんが今年の 3 月に逝去されていたことが解りました。

長年のご厚誼に感謝いたします。

＊ ＊

＊ ＊

＊ ＊

3) 第 58 回定例会のおしらせ

バイオテクノロジー標準化支援協会 第 58 回 定例会

日時 2014 年 09 月 26 日(金) 14 時 00 分—16 時 00 分

参加費：無料

＊ (定例会は会員でも会員でなくても自由に出席して、自由に発言も出来ます。)
友人同士誘い合わせてご出席ください。出席するのが面倒な方はメールでご意見をお寄せください。

場所 八雲クラブ (ニュー渋谷コーポラス 10 階・1001 号) (首都大学東京同窓会)

住所： 渋谷区宇田川町 12-3

電話番号： 03-3770-2214

(地図はグーグルで八雲クラブ案内図) **赤い矢印の場所**です、。



話題

電気泳動分析

- ① SABS Journal No46 定例会 38 に示した話題の再録です。

電気泳動は化学の領域では何となく虐待されています。電気分解反応は電気化学の領域として丁寧に教えています。この反応には多くの電気を使用するとまでは説明するのです。じつはこの電解質を移動させるのに大きなエネルギーを必要とするのです。そして、この移動現象が電気泳動という現象なのです。その現象を分析法としてもちゅうるのが電気泳動分析法なのです。この分析法はタンパク質とか核酸とか生体物質の分析に良く用いられるので古典的な化学者達には縁遠かったのかもしれませんが。

この領域は Liaison-officer としては真鍋 敬さんの領域です。

ISO 9000,の制定が大当たりをとり、ISO に大きな利益をもたらしました。今までに標準化出来ないと思われていた領域に標準化を持ち込んだのです。

日本の JIS は追従することによって少しの利益を得たようです。

併し、世界は変化し、つぎつぎと新しい標準化の課題が現れてきます。

日本はバイオ技術は重要だと良いながらこの十年間に大きく後れを取ってしまいました。IPS 細胞でも、宇宙実験でも研究だけではなく工業化への筋道を早く着けるべきです。

② 現在、直接、電気泳動に関する通則は次の 4 項目です。

(質量分析関係は含まれていません)

- * JIS-K-3812 2033 電気泳動分析通則
- * JIS-K-3813 2003 キャピラリー電気泳動分析通則
- * JIS-K-3837 SDS・ポリアクリルアミドゲル電気泳動分析通則
- * JIS-K-3838 酢酸セルロース膜自動電気泳動泳動装置

③ 電気泳動の用語が用いられている規格を調べると次のような 32 項目が上がってきます。バイオテクノロジーの Tc も出来たのですから、総合的な処理が必要になりつつあります。

JIS リスト

規格番号	規格名称
JISB9917-8	クリーンルーム及び関連制御環境－第 8 部：浮遊分子状汚染物質に関する空気清浄度
JISC8330	金属製電線管用の附属品
JISC8340	電線管用金属製ボックス及びボックスカバー
JISH0201	アルミニウム表面処理用語
JISH0400	電気めっき及び関連処理用語
JISH7008	金属超微粒子用語

JIS リスト

規格番号	規格名称
JISK0050	化学分析方法通則
JISK0133	高周波プラズマ質量分析通則
JISK0211	分析化学用語（基礎部門）
JISK0212	分析化学用語（光学部門）
JISK0213	分析化学用語（電気化学部門）
JISK0214	分析化学用語（クロマトグラフィー部門）
JISK0215	分析化学用語（分析機器部門）
JISK0216	分析化学用語（環境部門）
JISK0602	血清アルブミンの定量方法
JISK0603	免疫グロブリンの定量方法
JISK0604	モノクローナル I g G の定量方法
JISK0606	トランスフェリンの定量方法
JISK3600	バイオテクノロジー用語
JISK3610	生体工学用語（生体化学部門）
JISK3810-3	マイコプラズマの検出法－第3部：二段階PCRによる検出法
JISK8008	生化学試薬通則
JISK9801	大腸菌DNAポリメラーゼ I（試薬）
JISK9809	生化学試薬－D（+）-グルコース
JISK9810	生化学試薬－硫酸アンモニウム
JISL1081	羊毛繊維試験方法
JISL1940-1	繊維製品－アゾ色素由来の特定芳香族アミンの定量方法－第1部：繊維の抽出及び非抽出による特定アゾ色素の使用の検出
JISL1940-3	繊維製品－アゾ色素由来の特定芳香族アミンの定量方法－第3部：4-アミノアゾベンゼンを放出する特定アゾ色素の使用の検出
JISR1600	ファインセラミックス関連用語
JISR1638	ファインセラミックス粉末の等電点測定方法
JISX0525	自動認識技術－リライタブルハイブリッドメディアの評価仕様

JIS リスト

規格番号

規格名称

[JISZ8824](#)

粒子径測定のための試料調製—粉体の液中分散方法

- ④ 化学の定義がだんだんと世界の实情に合わなくなってきています。

「化学は物質の科学」という言い方もしますが、物質の定義もしておくべきです。

物質とは「原子という基本粒子の集合体です」。原子の分類を原子核の荷電で行うところに元素の概念が出てきます。したがって、化学は電気科学の領域です。

基本粒子の中で質量のない物をエネルギーといっています。

. * *

* * *

* *

4) ホームページにe-library のリストがあります。会員の方はその中から希望のものをご指摘ください。

バイオテクノロジー標準化支援協会からジャーナルをお届けします。

- ① 配信停止・中止希望； 返信にしてその旨お知らせください。
- ② 配信先等、登録情報変更希望； 返信にしてその旨お知らせください。
- ③ バイオテクノロジー標準化支援協会に新規会員登録を希望；返信にして、その旨記載してください。または入会希望書に必要事項を記載の上 FAX 送信ください。詳細確認希望の場合はその旨記載下さい。こちらよりご連絡差し上げます。
- ④ ウェブサイトに関するご意見；返信にして、ご意見を記載ください。